

令和7年度第1回第3期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議（要点）

日時：令和7年11月14日（金）
18時00分～19時30分
場所：廿日市市役所本庁
2階 201会議室

1 開会

2 議事

第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り及び
第3期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

◎各委員質問等

【会議の位置付け・着地点に関する確認】

○最終的な決定は事務局で決めると思うが、この会議では何をどこまで議論すべきか。
→資料2「策定方針」の「計画の体系」について主に議論いただきたい。そして、施策の内容や組み合わせ、横断的な視点、それぞれの整合がふさわしいかどうかご意見をいただきたい。

【計画策定における考え方に関する提案】

○例えば、一次産業の水稻を取り上げると、生産性向上の観点ではビニールハウスを建て効率化を図るといふ話になるが、地域づくりの観点でいえば昔ながらの田園風景を残していくということになる。
この他にも相反するものが出てくると思うが、「ここが大事なんですよ」ということを決め計画に位置づけていく考えが必要になると思う。

【KGI・KPI・KSF（重要成功要因）の整理方法に関する提案】

○単にKGI・KPIを並べるだけでなく、「何が成功要因（KSF）と考えられるのか」を併記しておく、後からの効果検証に役立つのではないかと。

【デジタル活用（DX）を横断テーマとして扱う際の留意点】

○デジタルは一つの分野としてではなく、各施策を横断的に支えるツールとして位置付けるべき。その上で、技術進化が速い分野なので、目標や指標には見直しの余地・柔軟性が必要である。

【市総合計画・県総合戦略との整合性に関する意見】

- 市総合計画と十分に整合できているかが見えにくい。総合計画が資料として出てきていないので、整合性を保っているかどうか事務局を信じるしかない状況である。本来は「この総合計画の中で、ここをより前面に出すのではないですか」という意見も出てくるはず。次回開催時には総合計画との整合性を確認できるように資料を用意していただけるとありがたい。
- 広島県自体も流出人口が多いという認識をしており、何らか手を打とうとしているはず。広島県の動向を確認し整合性を図りながら進めて欲しい。

【子育て・若者支援に関する意見】

- 友人との会話では子育てにおける最大の不安は「金銭面」であった。進学や子育てに対する経済的支援が厚くなるほど、廿日市を選びやすくなるのではないかと。
- 安定所（ハローワーク）は、仕事のマッチングだけでなく、働いている方たちの支援もしている。育児休業中の収入を、雇用保険から手取り相当額で補填する仕組みがある。また、母だけではなく、父も一緒に休めるように、男性の育児休業給付という制度もある。こういった制度を活用していただくことで、子育てと仕事の両立もしやすくなるのではないかと。

【雇用との連携に関する提案】

- 若者に選ばれるというところで、ユースエール認定企業という制度がある。年休の消化率、若者の雇用環境が良い企業を特別に認定する仕組みである。こうした「理解のある企業」を見える形にすることが、地域の振興という意味でも大事ではないかと思う。

【国際性・多文化共生・姉妹都市交流の位置付けに関する意見】

- 「多文化共生」という言葉は入っているが、もう一つの軸として「国際性」があるのではないかと。訪日観光客、あるいは外国人の居住が進み、住んでいる外国人の方も非常に多くなっている。国際交流協会もあり、多文化共生センターという施設も新設されている。住んでいる外国人のサポートも非常に手厚い。また、ニュージーランドの都市、ハワイ州の都市といった姉妹都市との交流が盛んである。教育面や産業面でも様々な交流が行われているので、そうした「国際性」が、この基本目標のところに入っていると、より廿日市の特徴が分かりやすいのではないかと感じた。

【子育て環境を支える「保育士人材」について】

○廿日市市は子育て環境や、保育料軽減などが高く評価されている一方で、現場では保育士不足が非常に厳しい状況である。「子育てしやすいまち」を掲げるのであれば、保護者向けサービスだけではなく、保育士を始めとする子育て関連人材が働き続けたいと思えるような処遇や職場環境の整備について手厚く計画の中で位置づけていきたい。

【「廿日市らしさ」強みの明確化に関する提案】

○国の地方創生ポータルなどで他都市は「自分たちの売り」を動画などで打ち出している。
廿日市として、子育て・国際性など、どこを一番の魅力として前面に出すのかを戦略の中で明確にすべき。

【協働に関する提案】

○「協働」という言葉を全面的に打ち出して欲しい。そして、単一部署ではなく、複数部署・市民が組になって動く取り組みを市民に見える形で進めてほしい。

【人口動態の評価に関する意見】

○廿日市市は、十年連続で転入超過になっている。新しい政策ももちろん大事だが、結果がでているため、今ある政策の中でも実際に効果を出している部分をもっと強化していくという視点が必要だと思う。

【人の市内転居や企業の市内展開を支える仕組みに関する意見】

○移転・移住についての制度が手厚いとよく聞く中で、会社が何か新たな地点だったり、工場を建てると言ったときに、現在地から他の市町に拠点を移すのではなく「できるだけ廿日市にとどまって事業を盛り上げていけるようにする」ための保証だったり支援策があってもよいのではないかな。また、人についても、ずっと廿日市にいたいという方に対して、残ってもらうための対策があってもいいのではないかな。
○市内間の移動を含めて、もう少し丁寧にデータを分析すれば、廿日市が支持されている部分をもっと見えてくると思う。

3 閉会